

# 「消費者力」の育成・強化について

消費者庁消費者教育推進課

# 体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」

○「靈感商法等の悪質商法への対策検討会」等の指摘を踏まえ、消費者被害の未然防止のため、「消費者力」の育成・強化に係るVR動画等を活用した体験型新教材を開発し、公表（令和6年4月）。

きた 体験型教材

## 鍛えよう、消費者力

気づく 断る 相談する



消費者トラブルに遭わないために、  
「気づく」「断る」「相談する」ポイントを学べる  
体験型教材です！

**VR動画で体験!**

若年者・社会人・高齢者に多い最新のトラブル事例を被害者目線で疑似体験

偽装サークル



「楽しい学生生活だと思っていたのに...!」編

催眠商法



「ご近所に誘われ、楽しい無料イベントに行ってみたら...!」編

**180° VR**

**マンガで知る!**



マンガでトラブル事例を知り  
問題点や対策を学ぶ  
テキスト教材

**暗号資産**



「将来への不安からもうけ話のってみたい...!」編

**被害者のリアルな声**



実際の被害に遭った方が  
実感を語る  
インタビュー動画  
(マルチ商法/靈感商法)

## 臨場感のあるVR動画で疑似体験しながら学ぶ動画教材

事例VR動画※ 視聴時間 約7分



被害者目線で消費者トラブルを疑似体験

復習動画 視聴時間 約5分



シーンを選び、対処法を考える

解説動画 視聴時間 約7分



西田公昭立正大学心理学部教授が、  
マインドコントロール等について解説

※VRゴーグル等がない場合でも、通常動画で視聴できます。

## 最新の消費者トラブルに基づいたマンガで学べる

強い武器を  
ゲットしたくて



ゲーム課金

カウンセリングだけ  
のつもりが...



美容医療

1回限りの  
注文のはずが



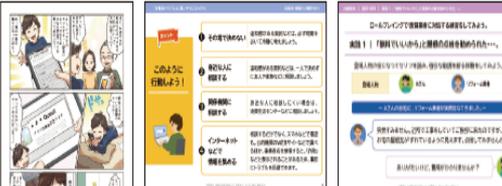
定期購入

親かな職人さんだと  
思っていたら...



訪問販売

## 事例マンガで理解を深める テキスト教材



事例ごとに「事例マンガ」「振り返り問題」「解説」「対策」「復習・実践」の流れで構成。  
悪質商法に気づくポイントや断り方などを解説。

## 授業・講座をサポートする 補助教材等もご用意



授業・講座展開例



ワークシート例



診断セルフチェック

【特設サイトはこちら】



# VR体験会の開催

- VR機材を用いた新教材の体験を、令和6年4月11日①17:00～18:00、②18:00～19:00、4月12日③15:00～16:00の計3回開催。計約80名の方が体験。
- 若年者、社会人、高齢者を対象とした3種類のVR体験コーナーを設け、VR体験後に、復習動画や解説動画を視聴。マルチ商法と靈感商法の被害者インタビューの動画上映も実施。

## 体験会の様子



- ▲ VRゴーグルを装着してVR動画を視聴する参加者（左）
- VR体験後、復習・解説動画を視聴する参加者（右）

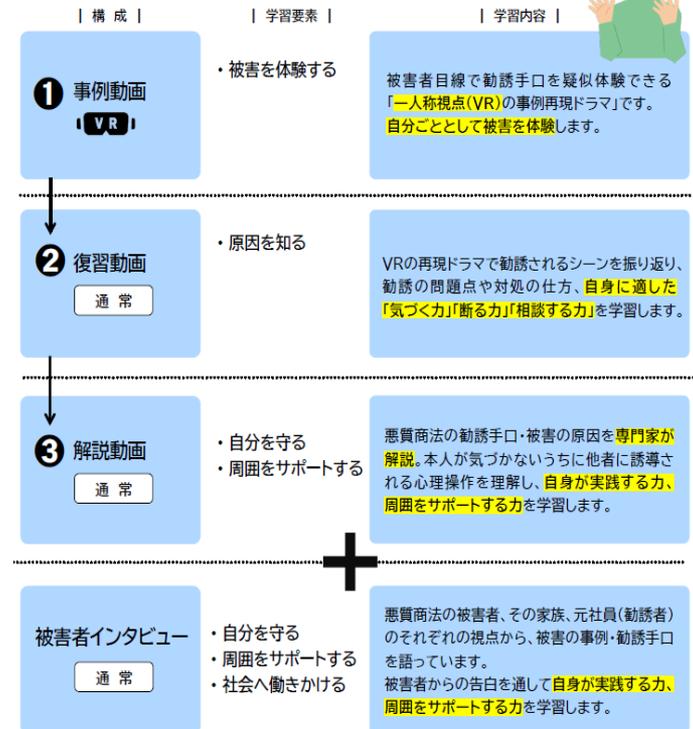
### （参加者からの声）

「11日に開催した体験会では、消費生活相談員や関係省庁・自治体の職員ら約80人が参加した。神奈川県大和市の市民相談課に勤める田中レオナルド龍主事は『ただ見るだけの動画よりも、体験している感じがあってリアルだった』と感想を口にする。」

日本経済新聞社「強引、巧妙な勧誘を疑似体験 VR教材で悪質商法回避」（2024年4月17日）に掲載

## ＜体験会での動画視聴の流れ＞

「動画教材」は、「事例」→「復習」→「解説」の流れで展開しています。  
また、消費者被害の理解をより深める「被害者インタビュー」動画を用意しています。



# VR動画教材で消費者トラブル事例を体験 (岡山市での実施報告)

## 実施概要

●講師 岡山市消費者教育コーディネーター

## 受講者の感想

実施場所	実施日	受講者	実施内容
岡山市消費生活センター	4月24日 5月1日	サポーター 10人	偽装サークル ネットトラブル(暗号資産) 催眠商法
山陽学園大学	5月16日	学生 7人	偽装サークル ネットトラブル(暗号資産)
就実大学	5月29日	学生 5人	偽装サークル ネットトラブル(暗号資産)
中国学園大学	6月12日	学生 3人	偽装サークル ネットトラブル(暗号資産)

- ・実際に体験している気持ちになるため、事例を学ぶための教材として適切だと感じた。(20代)
- ・体験する側も動画の中のやりとりに参加できるような仕組みになっていけば良い。(10代)
- ・座りながらであれば最後まで見る事が可能。(20代)
- ・やや気持ちが悪くなった。(70代)

## 課題・改善点 (実施者の意見)

- ・学生など若い年齢層には比較的抵抗感なく受け入れられるが、高齢者には不向き。
- ・効率的な研修を実施するためには同時に接続できる台数の増設が必要である。
- ・コンテンツの更なる充実ができれば、消費者被害に対してさらに理解が深まる。
- ・復習動画もVR内でできればより効果的である。
- ・接続等の操作についてコツを掴む必要があり、より詳しい取説があるとよい。



## 消費者庁VR教材を活用した消費者教育実践例の報告 (公社)全国消費生活相談員協会

【実施形態】 外部講師を活用した実践的な消費者教育講座（消費者庁受託事業）

【日時】 令和6年6月29日午前10時～午前11時30分

【対象者】 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療秘書学科（田村ゼミ生）  
田村ゼミ生は岡山県消費生活センターのボランティア講師として登録している。

【人数】 3年生4名 4年生5名（20代前半）

【教材の活用方法】

消費者トラブルと対処法について、SNSを契機とした若者の消費者トラブルの説明の際に、儲け話をVR教材で体験。ワークシートに基づく話し合いは、時間の都合上、今後のゼミで行うこととした。また、その他の若者のトラブル事例として偽装サークル、高齢者のトラブル事例として催眠商法のVR教材も体験した。

【講座の感想など】

- 驚くほどの臨場感があった（学生）
- 想像以上に臨場感があった。実際にトラブルを経験したことがない学生にはとてもよい教材・方法である。当事者がトラブルに巻き込まれることで怖い思いをする部分までVRを通して体験できれば、なお良いと思った。（田村准教授）
- 教材が精密機械なので持ち運びに注意が必要だった。ゴーグルを装着した際、調整に時間を要した。ゴーグル5台のうち1台がアクセスできず残念だった。
- ゼミなど少人数なら良いが、大人数の場合は工夫が必要。
- ゴーグルを使用していない学生は、モニターに映している動画を視聴するように工夫した。（当協会講師）

【留意点および今後の課題】

- VR機器を利用したことがない若者の場合、機器に興味を示すが、内容に集中できていないように見受けられた。
- 全員が同じ内容を視聴後、各自シンキングタイムを経てのグループディスカッションが必要である。
- ワークシートを用いてグループディスカッションを実施するには1回の講座では時間的に困難である。振り返りの時間を設けることにより知識の定着化が図られる。
- 3つのVR教材を各グループが並行して視聴できれば、短時間で2～3事例のグループワークも可能と思われる。
- 被害者側だけではなく、加害者の体験ができるものがあれば、より理解が深まると考えられる。

**実施日** 2024年6月6日(木) 16時半～18時の1コマ  
**実施対象** 岐阜大学教育学部家政教育講座2年生「家庭経済学」の講義  
消費者教育の講義を受講している15人(うち一人は中学校教諭)

## 実践方法

- ① 工学部出身の学生2人にパソコン等の設定を依頼。
- ② 15人の受講者を5つのグループに分け、1つのゴーグルを使い、3名が各一つのVR動画を体験。
- ③ グループ内でどのような内容であったかを話し合い、情報共有。
- ④ 5つのグループから一人がグループでの話し合いを紹介。
- ⑤ 他のグループの感想を聞き、加えて自分の感想を記述して提出。

## 受講者の感想

- ・ 学生のサークルのVRは狭い部屋での圧力など臨場感。追い詰められていく感じ。
- ・ ビデオでは分からない現場の状況を感じられてよかった。親にも伝えたい。
- ・ ゴーグルが重かった。画面が切れてしまうのが残念(360度ではない)。

## 中学校の教員の感想

- ・ 言葉の説明やビデオでは他人事になりがちだが、自分事として捉えられるのがよい。
- ・ 自分で設定できるかは不安。30～40人のクラスでの利用は全員分の装置がないと、待っている生徒が暇になるので、現実的には、授業での実施は難しいと感じた。酔う生徒がでると授業としては使えない。
- ・ 説明書があると、教師が説明しても生徒は聞いていない場合が多い。

## 大学教員の感想

- ・ VRなどお金がかかる教材に疑問を持っていたが、自分事として捉えた学生が思いのほか多く、デジタル世代に合っている。ただ酔う学生も出て対処を要したので、全員が楽しめるわけではなかった。
- ・ 送付してもらった装置が大きく、保管に場所をとった。始める前にやり方を確認する時間がなく、実践するまでに時間を要した。返却は自費というのが学校では少し難しい場合もあると感じた。